

平成16年度福祉教育研究県大会開催要項

1. 趣 旨

千葉県では、子どもも、障がいを持つ方も、高齢の方も、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生きることができる地域の実現を目指しています。

そのためには幼少期から、お互いに相手を思いやる心、ありのままを受入れて差別をしない心、相手の幸せを考えて行動する心等、「地域の生活者として共に生きる心」の育成が大切です。

今大会は、福祉教育の推進を行っている学校、地域の中で福祉教育に取り組んでいる社会福祉協議会等の団体や、障がいの有無に係わらず共に学び遊び生きることを実践している関係者が、その取り組みや成果について発表・研究することを目的に開催します。

2. 主 催

千 葉 県

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

千葉県福祉教育推進連絡会議

3. 後 援

千葉県教育委員会（予定）

4. 日 時

平成16年8月10日午前10時～午後3時45分

5. 会 場

千葉県立幕張総合高等学校 管理学習交流棟

（研究発表1）2階会議室1

（研究発表2）2階会議室2・3

（研究発表3）2階生涯学習室

（研究発表4）1階文化ホール

（研究発表5）*教室棟2F 123教室

6. 参加対象

福祉教育推進指定校及び指定終了校の教職員等関係者

教育庁各教育事務所及び市町村教育委員会関係者

郡市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会関係者

学校、社会福祉施設・団体、NPOやボランティア等の関係者

その他、福祉教育に関心のある者

7. 定 員 350名程度

8 . 日程及び内容

| 時間 | 内 容 | | | | |
|------------------|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 9:30 ~ | ~ 受付 ~ | | | | |
| 10:00 ~ 10:15 | < 主催者挨拶 > 千葉県健康福祉部健康福祉指導課長 野村隆司 千葉県社会福祉協議会常務理事 村社和雄 千葉県福祉教育推進連絡会議議長 寺本弘一 | | | | |
| 10:15 ~ 11:00 | < 講演 > 「ともに生きる力を育む福祉教育」 講師：日本社会事業大学 講師 中島修 | | | | |
| 11:00 ~ | ~ 10 分間休憩 ~ | | | | |
| 11:10 ~ 12:40 | < シンポジウム > 「総合的に推進する福祉教育」 コーディネーター：日本社会事業大学 講師 中島修 <u>子どもから大人までの福祉教育の必要性</u> 「成長に応じた福祉教育プログラム」 市川市社会福祉協議会：係長 山崎泰介 <u>学校と地域との連携による福祉教育</u> 「朗読ボランティア ~ 辻読書 ~」 富里市立日吉台小学校：教諭 飯塚典子、佐藤真澄 <u>障がいの有無に係わらず共に学び遊び生きる視点からみた福祉教育</u> NPO 法人ちば MD エコネット：代表 山田晴子 <u>作文発表：手足の不自由な友との交流を通して</u> 手足の不自由な友と交流の作文と図画作品展：県教育委員会教育長賞受賞者 細田志保 ・意見交換 ・まとめ | | | | |
| 12:40 ~ 13:30 | ~ 昼食・休憩 ~ < 注 > 昼食場所は午後からの研究発表教室。ただし 1 階文化ホールは飲食禁止のため、 教室棟 2F の普通教室 (1 2 3 ~ 1 2 8) でお召し上がりください | | | | |
| 会場 | [研究発表] 2 階会議室 1 | [研究発表] 2 階会議室 2・3 | [研究発表] 2 階生涯学習室 | [研究発表] 1 階文化ホール | [研究発表] 教室棟 2 階 1 2 3 教室 |
| 主な 内容 | 学校と地域の 連携による福祉 教育等 | 学校と地域の 連携による福祉 教育等 | 学校と地域の 連携による福祉 教育等 | 社会福祉協議 会、NPO 等が取 り組む福祉教育 | 障がいの有無 に係らず共に学 び遊び生きる教 育の実践 |
| 13:30 ~ 14:00 | 【小学校】 | 【小学校】 | 【中学校】 | 【NPO】 | 【小学校等 関係者】 |
| 14:00 ~ 14:30 | 【小学校】 | 【小学校】 | 【高等学校】 | 【NPO】 | |
| 14:30 ~ | ~ 15 分間休憩 ~ | | | | |
| 14:45 ~ 15:15 | 【小学校】 | 【中学校】 | 【高等学校】 | 【社会福祉 協議会】 | 【中学校等 関係者】 |
| 15:15 ~ 15:45 | 【小学校】 | 【中学校】 | 【高等学校】 | 【社会福祉 協議会】 | |
| 15:45 | 解散 | | | | |

9 . 参加経費：無料

* 昼食については各自ご持参ください。

なお、当日会場で業者による注文販売を予定しています。

事前に個数を把握したいため、ご希望される方は申込書該当欄に 印をつけてください。

10 . 駐車場

なるべく公共交通機関等のご利用をお願いいたします。

なお、駐車場をご利用される方は整理駐車にご協力ください。

11 . 参加申込み

別紙様式により 7月23日(金)まで に下記担当へお申込みください。

(FAX での申し込み可)

担当

〒260-8508

千葉市中央区千葉港 4 - 3 千葉県社会福祉センター内 2 階

千葉県社会福祉協議会 福祉事業室 佐野

：043-245-1102 fax：043-244-5201

様 式

平成 16 年 月 日

社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会長 様

所属名 _____

所属長名 _____

平成 16 年度福祉教育研究県大会について、下記のとおり申込みします。

記

| 役職名等 | 氏 名 | 昼食希望 (該当に) | 備 考 |
|------|-----|--------------|-----|
| | | 有 ・ 無 | |
| | | 有 ・ 無 | |
| | | 有 ・ 無 | |

今大会及び福祉教育についてご意見等ありましたらご記入ください。

発表者の案（仮依頼中）

< 研究発表 1 >

- 【小学校】 習志野市立向山小学校
- 【小学校】 船橋市立八木が谷北小学校
- 【小学校】 大栄町立前林小学校
- 【小学校】 東金市立豊成小学校

< 研究発表 2 >

- 【小学校】 館山市立館野小学校
- 【小学校】 木更津市立八幡台小学校
- 【中学校】 浦安市立富岡中学校
- 【中学校】 海上町立海上中学校

< 研究発表 3 >

- 【中学校】 大多喜町立大多喜中学校
- 【高等学校】 増田学園千葉聖心高等学校
- 【高等学校】 千葉県立野田高等学校
- 【高等学校】 千葉県立銚子高等学校

< 研究発表 4 >

- 【NPO等】 NPO法人 ウィズ エブリワン 理事長 倉田知典
(福祉って何? 障害当事者の講師からみた子どもの変化、学校に対して期待すること)
- 【NPO等】 青葉台さわやかネットワーク
(地区内の小・中学校、高校とも連携、高齢者と児童との世代間交流活動事例)
- 【社会福祉協議会】 佐倉市社会福祉協議会
(教職員を対象に福祉教育の研修・学校連絡会の開催事例)
- 【社会福祉協議会】 鴨川市社会福祉協議会
(福祉教育推進連絡会で小中高で連携した教育、ボランティアキャンプ、福祉出前講座事例)

< 研究発表 5 >

【小学校】【中学校】の各校ずつ「ともに学ぶ教育に積極的な学校等」に依頼中

< 研究発表 5 が必要な理由 >

従来、福祉教育というと障がい者の講師を招いて講演をしてもらったケースが多かったが、一度話を聞いただけで、本当に心のバリアが無くなるのだろうか。

そこで(本人や親が希望した場合)障がい児を健常児と同じクラスに受け入れることで、障がい児の社会性を高め、かつ、健常児の障がいを持つ人への理解が深まると思う。

お互いいつも自然にクラスで友達としていた方が、心のバリアフリー化が図れると思う。

ただし、いじめが発生する可能性や、養護学校の必要性を否定するものではない。

今回は障がい児の受け入れ方法(学校の体制整備)と効果や、課題などの話を頂戴したいと思う。